

5月24日（土）に総検校塙保己一先生遺徳顕彰会の総会を開催します



昨年設立総会の様子

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、次の日程で平成20年度の総会を開催いたします。当日は、あいさつ、議事に引き続いて、温故学会の女性ボランティアによる紙芝居「塙保己一ものがたり」を予定しておりますので、皆様のご来場をお待ちしています。

日時 平成20年5月24日（土）午後1時30分
場所 本庄市児玉文化会館（セルディ）ホール

塙保己一先生の遺徳をたどるバス研修

平成20年2月24日（日）に「塙保己一先生の遺徳をたどるバス研修」を行いました。

当日は、早朝の積雪により何名か欠席者がいましたが、バス1台35名が参加しました。

行きの車中で配布資料の説明を行い、塙保己一物語と本庄市塙保己一記念館の紹介ビデオを楽しみました。

最初は塙保己一先生が眠る愛染院でお墓参りをしました。

和学講談所跡では、近くの靖国神社にバスを止め、標柱の前で過去をしのびました。

温故学会では、理事長代理の斉藤幸一さんから塙先生の説明を聞き、群書類従の版木倉庫を見学しました。

帰りの車中で全員から感想を述べてもらいましたが、全員が参加したことに満足し、塙先生の偉業を知り、関連する3か所を訪れたことを喜んでいました。



愛染院：会員によるお墓参り



温故学会：群書類従の版木倉庫

社団法人温故学会

社団法人温故学会は、総検校塙保己一先生のご精神である温故知新（論語：ふるきをたずねてあたらしきをしる）の趣旨に基づき活動するとともに、重要文化財指定の『群書類従』版木の保管と摺立て頒布、盲人福祉事業、各種啓発事業を行なっています。

開館日 月曜から金曜（午前9時～午後5時：要予約）
（土・日・祝日は原則的に休館だが応相談）

入館料 おとな 100円 東京都渋谷区東2-9-1 03-3400-3226 JR渋谷駅よりバス（徒歩20分）

会員の投稿コーナー

『～塙保己一と共生のこころ～』

堺正一先生、高崎にて講演



立正大学社会福祉学部公開講座 2008 in 高崎

本年2月、高崎駅ビルにて立正大学の公開講座が開催されました。二つの講演が組み合わさって、最初の方が立正大学准教授の堺正一先生の『ヘレン・ケラーが心の支えとした日本人～塙保己一と共生のこころ～』でした。あとに人気作家・五木寛之氏の講演「人間の関係」が設営されていたこともあってか、広い会場も満杯で椅子席は勿論、両側の壁際や真ん中の通路も埋める位で、演者が、来聴者の酸欠を心配する程の混み合いでした。

堺先生はヘレン・ケラーの「障害者は不自由・不都合があっても不幸ではない」や、第1回塙保己一賞（大賞）・受賞者の本間昭雄さんの「もう一度の人生も、盲人であっても幸せだ」などの言葉を引用されながら、次のように講演を続けられた：

健全者は障害者を理解してやってほしい、障害者が暮らしやすい世の中は、全ての人にとって暮らしやすい（生きやすい）一と。いくら有能な人でも、必ず成功するとは限らない、ひとの助け（＝共生のこころ）があつてこそ大事を成し遂げられる。昔の本庄児玉の人たちに、盲目の人・塙保己一を大偉人に育てた、その共生のこころが存在した一お話です、大変嬉しい限りでした。何しろ、日本一の盲目の偉人の出身地・本庄児玉の人たちがこの良き時代の良き共生のこころを讃えることによって、これからの本庄児玉の世の中に勇気と希望を与えてくれるものであります。堺先生が、本庄児玉の人たちは塙保己一を郷土の偉人として、大変尊敬していて、塙保己一先生とか、塙保己一翁などと呼んでいる一と紹介された。本庄市民として、市外（それも今回は県外）で上記のお話を伺い、又、この塙保己一顕彰会の一会員として益々、塙保己一翁の遺徳を広めたいものです。

そして堺正一先生には是非、県内・近県を問わず日本全国へ発信していただきたいものです。

レポーター 顕彰会会員 小林 隆

漢詩

総検校塙保己一先生
意思堅牢努力年 此持心眼類従編
飛翔世界知何日 業績能令永久伝
（仄起式 下平声一先韻）

神谷克己（翠岳）

漢詩の読み方

堅牢なる意思努力の年
ここ心眼をもって類従あむ
世界に飛翔す知るはずれの日ぞ
業績よく永久に伝えせしむ

俳句

保己一へ告ぐ紅梅の早咲きを

矢沼冬星

講談所跡は街角春浅し

島方千鶴

皆様からの投稿を歓迎します

本庄市塙保己一記念館にある資料紹介

(1) お宝箱 顕彰会事業委員 長谷川 典明

これは、数え15歳の塙保己一が、宝暦10年(1760年)江戸に出るときに身の回りの物を入れて背負っていった素麺箱です。後々まで保己一が大切にしていたようで、和学講談所の仕事でいろいろな関係を持つ林大学頭が「御宝箱」と命名した、と塙家には伝えられています。「塙検校遺物集」(金鑽武城編纂)の塙検校生家荻野家伝来遺物の中には見当たらないが、塙保次氏所有の塙検校遺物目録(児玉温故会々報「遠峰」第三号)にあるので、塙家で保存してきたものが、荻野家を経て塙保己一記念館へ移管されたようです。

(参考:大田善麿「塙検校の借財について」)



会員継続のお願い

会員の方には会員継続申込書を郵送いたします。郵便振替や銀行振込等で入金するか、現金を持参して下記に申し込んでください。

また、新規会員も募集していますので、お知り合いの方にもご勧誘をお願いいたします。

※詳細は同封の「会費の送金方法」をご覧ください。

入会受付場所

本庄市生涯学習課(中央公民館)または
本庄市児玉文化会館(セルディ)
平日・休日の午前9時～午後5時

【郵便振替】

口座番号 00190-4-615442

口座名称 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

【銀行振込】

埼玉りそな銀行 本庄支店

普通預金 4627375

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

※本庄市役所文化財保護課(本庁4階)及び児玉総合支所総務課(支所2階)でも受け付けますが、平日の執務時間に会費と入会書類を預かり、後日、顕彰会事務局から領収書等を郵送いたします。

顕彰会の協力者を募集しています

会員の中からボランティアで顕彰会の行事や活動を手助けしてくれる協力者(サポーター)を募集しています。

協力者は、事業企画部会(イベントの企画)や広報普及部会(会報誌の編集)の会議に参加していただきます。また、総会や顕彰祭などのイベント時のお手伝いをしていただきます。

ご協力していただける方は、事務局までお申し出いただきますようお願いいたします。

現在の会員数をお知らせします

平成20年3月31日現在、個人会員924人、賛助会員33団体となっています。平成20年度も引き続き継続していただき、更に多くの会員が必要となりますので、皆様のご協力をお願いいたします。今後も会員増強に努力し、塙先生の偉業を全国に知らせるために、色々な広報活動を活発にしたいと考えています。



編集後記

顕彰会も2年目に入りますが、会員からの投稿も入り、会報誌らしくなってきました。

引き続き、皆様からの投稿も歓迎いたしますので、よろしくをお願いいたします。

発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

(本庄市教育委員会 生涯学習課内)

担当者 田中、須賀

住所 367-0031

埼玉県本庄市北堀1422(中央公民館)

電話 0495-22-3248

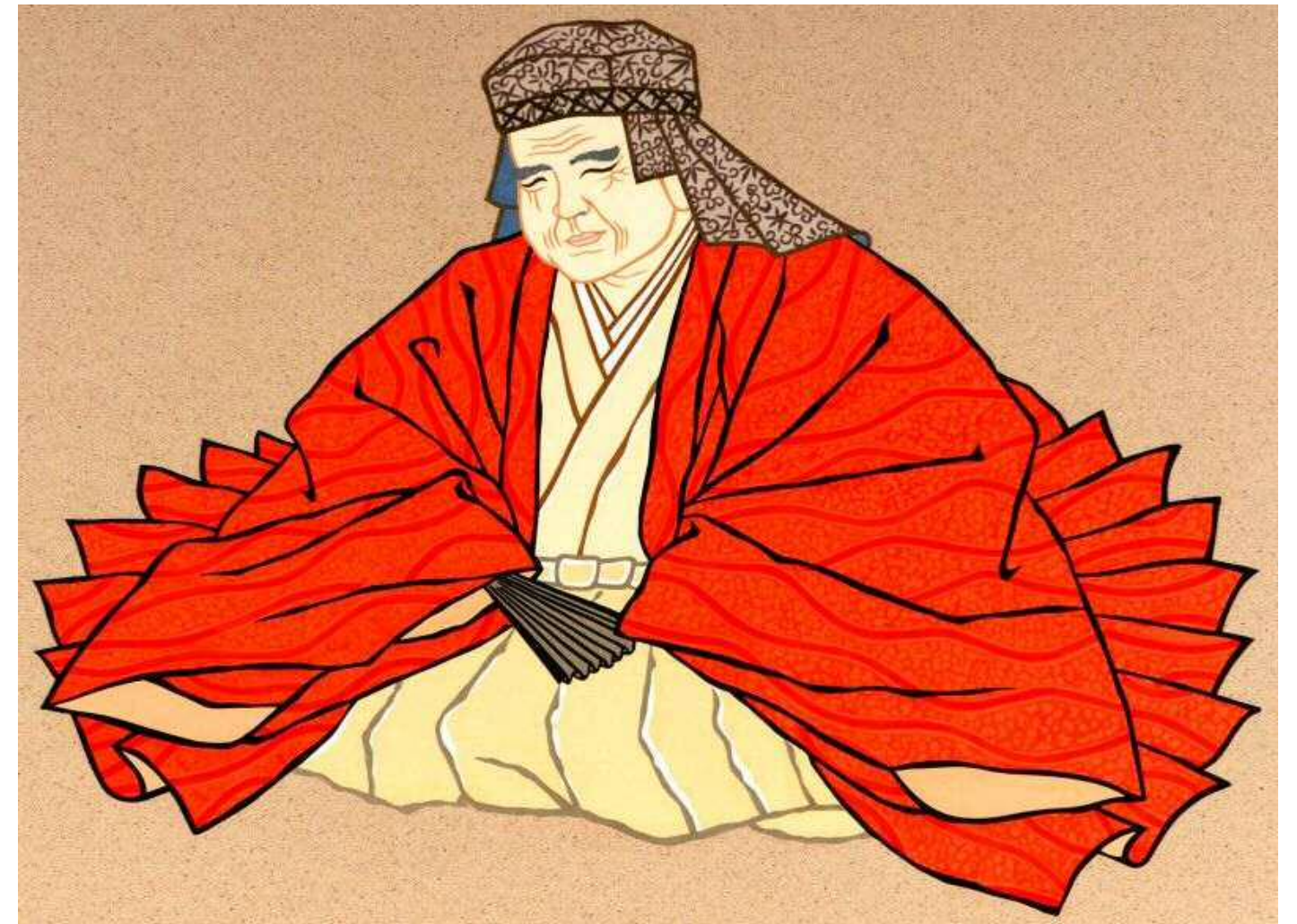
FAX 0495-23-1677

そうけんぎょうはなわほきいちせんせいとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第2号

平成20年4月発行



市内の福田守男さんが制作したカラー切絵

ごあいさつ

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、昨年7月に発足しました。そして、顕彰祭の開催、会報誌の発行、バス研修の実施や埼玉県塙保己一賞表彰式への協力など、色々な事業を行ってまいりました。

また、塙先生の「世のため、後のため」という信念は、本庄市総合振興計画の将来像にも取り入れられています。

今後も、総検校塙保己一先生の生涯や和学講談所や群書類従の意義について、広く啓発してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

平成20年度の総会は5月24日(土)に開催いたしますが、当日は、多くの会員の皆様においでいただき、ご意見を伺いたいと存じます。また、平成20年度につきましても、継続して会員申込していただきますようお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会長 吉田信解